

はあとふる



地域支援センター通信（猪苗代支援学校）
第1号 令和7年4月16日（水）発行

「白く笑う」と「泣き笑い」

はあとふる センター長 渡邊 幹男

猪苗代支援学校長の渡邊幹男と申します。本校に赴任して2年目となりました。

さて、2024年のノーベル文学賞を受賞した韓国の作家ハン・ガンさんの『すべての、白いものたちの』（河出文庫）を読んで知ったことですが、韓国語には「白く笑う」という表現があるそうです。悲しみや寂しさに耐えながら静かに笑う状況だそうで、言われてみれば、そういう状況になるときもあるよなあと言葉の切り取り方に感心しました。日本語だと「薄笑い」？「作り笑い」？ニュアンスがちょっと違うなあと思いながら、学校にいる子どもたちの笑顔を思い出してみます。

単純化して見るのはよくないかもしれませんが、全力で笑い、全力で泣き、実に子どもらしく、相反する感情が入り混じる「白く笑う」ような表出はあまり見かけないように感じます。しかし、どの子にも、そしてどの人間にも悩みがあり、苦しみがあり、もしかして笑いながら泣いている子もいるのかもしれない。そのような子の支援はどうすればいいのか？…悩みますが、性急に正解を求めるのではなく、いっしょに泣き笑いに付き添っていくことに尽きるのかなとも思っています。

子どもたちの泣き笑いに付き添っていく保護者、地域の支援者、先生方に、地域支援センターも付き添っていきたいと思います。

今年度も、地域支援センター「はあとふる」をよろしくお願いいたします。



教育相談（いなっ子相談室）

本校の児童生徒の皆さんや保護者の方と、地域の保育所、幼稚園、こども園、小・中・高等学校等で特別な教育的支援を必要とする幼児・児童・生徒に関する相談、就学や進路に関する相談を行っています。

本校の保護者の方でお話をしたいときは、特別支援教育コーディネーター（滝田）や各学級の担任に声をかけてください。



昨年度の様子

保護者交流会 はあとふるタイム

今年度も、本校保護者の方同士でゆったりとお話をする交流会を5月、10月に実施する予定です。

1回目は、5月2日（金）、2回目は10月30日（木）です。詳しくは、後日、お知らせを配付します。

いろいろなお話ができますので、ぜひご参加ください。

情報提供

特別支援教育や教育相談に関する情報を、この通信「はあとふる」で提供します。また、本校のホームページに情報を随時更新していますのでぜひご覧ください。



本校地域支援センターHP



教育相談専用ページ